

序

臨床栄養学は、傷病者の栄養指導をその業とする管理栄養士の育成に重要な学問である。臨床栄養学を学ぶには、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」の専門基礎科目群を履修し、さらに、臨床医学概論を履修し、疾病の原因、病態生理、症状、診断、治療法を学び、理解している必要がある。つまり、臨床栄養学は人体の構造と機能及び疾病の成り立ちを理解し、疾病に対して栄養学的にどのように対応するのかを明らかにする学問である。したがって、臨床栄養学の実践となる栄養食事療法あるいは栄養食事療法のための栄養指導には、食品学、栄養学、調理学、給食経営管理論の知識を疾病の治療と関連づけて理解することが望まれる。

『栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学』は、「テキスト」基礎編／疾患別編2冊と演習版「ノート」のセットにより効率的に学習することをねらい、その「ノート」が本書である。本書は、学習ボリュームが多い臨床栄養学の効率的な自学自習をねらい、確実な知識とすることをめざしたものである。

各章のはじめに、「学習のポイント」により学習する内容の重要ポイントを簡潔に示し、次に、「学習の前に」では知っておくべきことを確認し、知識不足への補充を進めるだけでなく、各章の学習効果を高めることをねらった。さらに、「Key Words」を示し、学習内容のイメージづくりを、「要点整理問題」で用語の穴埋め問題にとりくみ重要事項の理解を進めている。また、各章の「Coffee Break」欄では、単調で難解な学習内容を楽しんで学べるよう、エピソードや解釈の紐解きなど、興味ある話題を提供した。そして、各章の終わりには、国家試験問題に準拠した演習問題を掲載し、自己評価に活用ができるようにした。演習問題あるいは要点整理問題の解答が困難な項目があるなら、本書「ノート」に対応している「テキスト」基礎編／疾患別編を併用し、反復学習し確実な知識と成し得ていただきたい。

本書の執筆は、臨床栄養を臨床現場で実践し、専門性を高めて活躍している管理栄養士の諸先生、あるいは管理栄養士養成校にて「臨床栄養学」の教育・研究にかかわり、当該疾患を研究領域とする諸先生である。本書で解説した内容を理解し、臨床栄養学に興味をもち、医学ならびに栄養学の日進月歩に感動し、臨床栄養学の知識や理論を実践されることを願っている。

2012年3月

本田佳子
土江節子
曾根博仁